

佛道と藝道

佐々井秀嶺 with 玉川奈々福

佛道と藝道 佐々井秀嶺 with 玉川奈々福

日時：2017年7月1日(土) 開場 18:30 開演 19:00

会場：角筈区民ホール 3階 参加費：3,000円(当日受付にて)

佐々井秀嶺

今から五十年以上前、浪曲を愛したひとりの青年僧が日本を飛び出した。その人の名は、佐々井秀嶺(1935年生まれ)…。みづから「世紀の苦悩児」と呼ぶ彼の生きざまは、まさに破天荒。恋に苦しみ人生に悩み、自殺未遂三回、放浪の果てに転がり込んだ寺に拾われ、やがて僧侶の道を志す。1965年、師匠山本秀順の薦めでタイへ留学、二年間の修行を経て仏教の故国インドへ渡り、かの国でヒンドゥー教による差別に苦しむ民衆、いわゆる「不可触民」と出会う。1987年インド国籍取得。2009年に帰国するまでただの一度も日本の土を踏まず、インド最下層民衆の解放と仏教改宗運動に身を捧げて、現在に至る。そんな彼を今も支えているのは、日本庶民の心・浪花節。自身も青年時代に東屋流浪曲を学んだ佐々井は、2016年来日の際、東京浅草の木馬亭にて「浪曲界のシンデレラ」こと玉川奈々福と邂逅。



玉川奈々福

浪曲師・曲師(浪曲三味線奏者)

1994(平成6)年10月、日本浪曲協会主宰三味線教室に参加。1995(平成7)年7月7日玉川福太郎に入門。師の勧めにより2001(平成13)年より浪曲師としても活動。2004(平成16)年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全5回、2005(平成17)年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全5回プロデュース。2006(平成18)年本橋成一監督作品『ナミイと唄えば』出演。同年12月、芸名を美穂子から奈々福に改め名披露目。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。今年は日本の伝統的な話芸の世界を様々な角度から掘り下げる『語り芸パースペクティブ』という事業を開催中。

blog → <http://tamamiho55.seesaa.net/s/>

Twitter → @nanafuku55



今回、この両者による奇跡のコラボレーションが遂に実現！会の前半は玉川奈々福の浪花節をじっくり(曲師：沢村豊子)、そして後半は佐々井秀嶺との対談『佛道と藝道』。さてさて、どんな話が飛び出するか、乞う御期待！現代インドと平成日本、千里の波濤を越えて響き合う浪花節のこころ。かたい話は抜きにして、楽しい集いにしたいと考えています。この機会を是非ともお見逃しなく！(敬称略。文責：高山龍智)



佛道と藝道 佐々井秀嶺 with 玉川奈々福

日時：2017年7月1日(土) 開場 18:30 開演 19:00

会場：角筈区民ホール 3階 電話 03-3377-1372

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目3番7号

【交通案内】◎京王線「初台」東口徒歩10分 ◎地下鉄大江戸線「都庁前」A5出口徒歩10分

◎京王バス 新宿駅西口 京王百貨店前21番 WEバス西ルート「パークハイアット東京前」下車

主催：「佛道と藝道」実行委員会《お問い合わせはメールにて》 butsugeido@ahk.jp

佛道と藝道

Shurei Sasai

Nanafuku Tamagawa

佐々井秀嶺 with 玉川奈々福

日時：2017 年 7 月 1 日 (土) 開場 18:30 開演 19:00

会場：角筈区民ホール 3 階 参加費：3,000 円
(当日受付にて)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4 丁目 3 番 7 号 電話 03-3377-1372

【交通案内】◎京王線「初台」東口徒歩 10 分 ◎地下鉄大江戸線「都庁前」A5 出口徒歩 10 分

◎京王バス 新宿駅西口 京王百貨店前 21 番 WE バス西ルート「パークハイアット東京前」下車

主催：「佛道と藝道」実行委員会 《お問い合わせはメールにて》 butsugeido@ahk.jp